



第49号  
2018年10月31日



埼玉県合唱連盟  
〒330-8557 さいたま市浦和区常盤4-12-13  
(朝日新聞さいたま総局内)  
TEL 048-824-8161  
FAX 048-831-5310  
<http://saicl.net/>

## Let's Swing!

SAITAMAコーラスワークショップを、今年も合唱祭の第1日目と第3日目の2日間で実施しました。

6講座の聴講者数は800名を超えて、大変盛況でした。

講座A: NHK学校音楽コンクール中学校の部(同声)…受講者は客席で歌唱、岸信介先生のレッスンを受けました。

講座B: 岸先生の指揮で「海鳥の詩」を歌おう(混声)…「オロロン鳥」「エトピリカ」のレッスンを受けました。

講座C: NHK学校音楽コンクール中学校の部(混声)…受講者は客席で歌唱、野本立人先生のレッスンを受けました。

講座D: 合唱のキソを学ぼう…伊東恵司先生著「合唱のイントロダクション」をテキストに、ご本人からレッスンを受けました。

講座E: 全日本課題曲F3…モデル合唱団松山女子高校音楽部の皆さんと、伊東恵司先生のレッスンを受けました。受講者はレッスンを聴講しました。

講座F: Let's sing Jazz!…ジャズボーカルグループBREEZEから、「雨に唄えば」のレッスンを受けました。

どの講習も大変充実した素晴らしいものでした。参加してみて初めて、その良さがわかります。まだ講習に参加したことのない方、一度参加してみてください。

「ワークショップ」の名のとおり、講習を受けたり、合唱祭を聴いたり、楽譜や衣装のショップを回ったりしてまる一日合唱を楽しんでいただきたく、「講習会」と「合唱祭」を同日の開

## うたの世界を広げよう —SAITAMAコーラスワークショップ2018—

催にしてここ数年間実施してきましたが、2つの事業にわたって参加をしている人があまり多くないのが実情です。皆様にもっとワークショップの楽しみ方を知っていただくにはどうしたらよいかが、今後の課題です。(常務理事 小松直詩)

### Let's sing Jazz!

合唱連盟のワークショップにjazz。驚かれた方もいらっしゃるかもしれません。「jazz vocal group BREEZE」はとろけるハーモニーのとても素敵なプロのボーカルグループです。私は常常このハーモニーを合唱人に聴いてもらいたい、経験してもらいたいと思っていました。コンクール課題曲や王道合唱曲講座に人気が集まりがちですが、中高年シニア向けの楽しめる講座をやる、という連盟初めての試みでもありました。どれくらい宣伝できたか、反省点も多々あります。

ジャズというと英語で難しいリズムとノリ。特に合唱の人は敬遠しがちですね。でもレッスンで先生が「拍は跳ねるようにとらないで、そもそもこするようにとる」と言って目の前で実践しながら歌ってくれました。遠慮がちだった歌い手が少しずつ変わってきた瞬間です。今まで真正面から合唱に向き合い、歌ってきたりズムの感覚とは違うノリ。みんな自分のももをこすりながら、そして歌いながら頭の体操してるみたい。1時間半でどれくらいのことが出来たかわかりませんが、ステージに乗った38人はとても楽しく、ちょびっとジャズっておりました。(常務理事 南めぐみ)



撮影:スタッフ・テス(株)

## 第63回

# 埼玉県合唱祭



2018年6月、埼玉会館、さいたま市文化センター、熊谷文化創造館にて5日間にわたり第63回埼玉県合唱祭が行われました。今年は246団体、5,870人の参加でした。

この5,870の方全員に合唱祭を楽しんで頂きたい、参加してよかったですと思っていただくためにはどうしたらいいか、と私たちは常々考えておりました。そこで今年考えたのが「いいねカード」です。指定された団を聴いて「いいね」と思ったところをカードに書くというものです。導入にあたり心配は、本当に書いてもらえるか、もらった人が傷つくようなことにならないか、その他諸々・・・が、そんな心配はよそに、受け取った皆さんのお反応はとても良いものでした。

「気分がよかったです」

「書かなくちゃと思って聴いたらいつもよりちゃんと聴けた」

「おかげで打ち上げがとても楽しく盛り上がった」

おかあさんコーラスの方からは「中学生から書いて

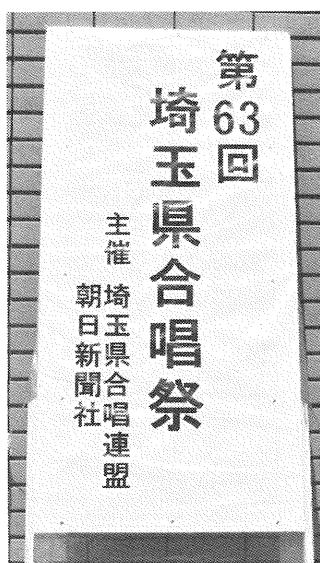


もらって嬉しかった。なんかラブレターもらった気分」

一生懸命練習してきたからこそ聴いてもらいたい、温かい拍手が欲しいと思う。それは今ステージで歌っている人も聴いている人もみんな一緒ですね。全国レベルの演奏には圧倒される。でもつたない演奏にも「音程が下がっちゃうのわかるなあ」とか「難しい曲を頑張ったなあ」とか、共感する。そのステージに上がる努力は一生懸命練習してきた皆さんだからこそわかる、分かち合えるものなのではないでしょうか。そのあとはその気持ちを拍手にかえるだけです。みんなで称える、称えられる。それが会場を温かくする一つの要因かもしれませんね。「いいねカード」はその気持ちを再確認するツールになれたかと思います。

さて来年はどうしよう、何か楽しいことはないか、いや、従来の形を見直してみるか。担当者一同模索しております。どうぞたくさんのみなさまのご参加お待ちしております。

(常務理事 南めぐみ)



努力の共感、合唱祭



合唱祭のニューフェイス

## 輪になって輪になって 大きな歌の輪を広げましょう

すみれ会

メソパートリーダー 武田 靖子

すみれ会は合唱好きな人達が集まって10年余り前に出来た合唱団です。他の合唱団の演奏を聴いてみたい。練習を充実させる為に何か目的が欲しいとの思いから合唱祭にこの度参加いたしました。指揮者もピアニストも私達も、緊張と何かしら喜びを感じながら演奏いたしました。

講師の先生方の講評を頂き有難く、『いいねカード』の言葉に励まれ、色々な合唱団の演奏を楽しみ、レベルの高い合唱団に深く感動いたしました。先生方の講評を胸にきざみ若くて経験豊富な指導者のもと、来年はもっと良い演奏が出来るようみんなで励もうと熱い心を抱いて、会場を後にしました。仲間と共に健康で合唱出来る幸せを感じ感謝しております。



撮影：スタッフ・テス株

## 飲んで歌って in 伊豆の国

～第7回全日本男声合唱フェスティバル in 伊豆の国～

2018年6月30日(土)・7月1日(日)

於：静岡県伊豆の国市／伊豆の国市長岡総合会館「アクシスかつらぎ」他

男声合唱団 ヴィヴ・ラ・コンパニー（ヴィヴコン）

代表 加藤 良一

この大会は今年で7回目を迎え、全国から21団体が参加し伊豆の国市で開催されました。コンセプトはとにかく歌うこと飲むこと、埼玉発祥のおとうさんコーラス大会を全国版にしたようなものです。今回は2017年12月に他界された男声合唱プロジェクトYARO会とご縁の深い作曲家多田武彦氏を偲び、組曲『富士山』から3曲を会場全員で大合唱しました。



ヴィヴコンは2014年、指揮に常務理事の南めぐみさんをお迎えし、岡山、京都、高知、小樽、静岡と連続5回参加しています。今回は、シーシャンティ。“Blow the man down”、ジャジーな新実徳英「ちいさな法螺」、信長貴富「さらに高いみち」の3曲を演奏しました。

撮影：株大阪フォトサービス

# 美しい響きをありがとう

～第41回 全日本おかあさんコーラス関東支部大会～

2018年7月7日(土)・8日(日)

於：埼玉県所沢市／所沢市民文化センター ミューズ

**7月7日(土)**

ポローニア	大会賞
浦和女声合唱団	優良賞
女声合唱団 コール・秋桜	大会賞
ふるさと女声コーラス	大会賞
コール合歓	大会賞
コール・ブリランテ	大会賞
ゆうかり女声合唱団	大会賞
アンサンブル・シルキィ	優良賞
アンダンテ・ルツツィカーレ	優良賞

**7月8日(日)**

コール・マーガレット	優良賞
コーラル・クローバー	大会賞
女声コーラス 秋桜	大会賞
コーラスせきれい	大会賞
<u>Cache-Cache</u>	優秀賞
カペラージョ	大会賞
<u>Ladies Choir 潮の音</u>	優秀賞
ヴォーチェ・ビアンカ	優秀賞
コール・ドルチエ	優良賞

(出演順に記載) 下線の団体は全国大会への代表

# SAITAMAの歌声 韶けみかんの国に

～第41回 全日本おかあさんコーラス全国大会～

2018年8月25日(土)・26日(日)

於：愛媛県松山市／愛媛県県民文化会館ひめぎんホール

おかあさん  
コーラス賞

Cache-Cache

ひまわり賞

技術部 小野田 光子

創団11年目、憧れの全国大会に初出場がかないました。会場のひめぎんホールは3000席を誇る大ホール、幅広く高く続く客席に思わず冷や汗が出てきました。事前打合わせの席で愛媛



県連の方が「気持ちよく響きます、先生方の席までちゃんと届きますよ、良い音も悪い音もちゃんとね。」と気持ちをほぐすエールを送って下さいました。14人でア・カペラでの挑戦でしたが、初めて出会う皆さんにいつものように私達の歌を届けようと本番の舞台に臨み、ひまわり賞を受賞できたことをうれしく思います。松山市内でも「みきゃんちゃんのバッジとうちわ」が目印となって全国の歌仲間さんと交流できて、これぞ全国大会。この夏一番の思い出となりました。

ヴォーチェ・ビアンカ

おかあさん  
コーラス賞

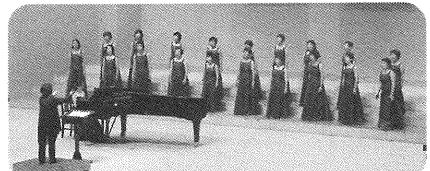
団長 小林 秀子

松山市のひめぎんホールで全国より64団体が出場し、開催されました。関東大会に於いて優秀賞を2年連続でいただきました。理事長推薦を頂き念願の全国大会に出場することが出来ました。松山大会は2回目になりますが、当時からの団員は大幅に入れ替わりました。レッスンは鎌田先生ご自身がピアノを弾き、アナリーゼ、発声等わかりやすく丁寧に御指導くださっています。喜びと緊張の中、当日を迎えました。大きなホール、華やかさと熱気に入り包まれ全国大会出演の責任の重さを感じました。本番は64名でハーモニーを大切に心を込めて演奏しました。素晴らしい貴重な経験をさせて頂き感謝致します。又、多くの関係者の皆様方に心よりお礼申し上げます。



Ladies Choir 潮の音

団長 小林 京子



台風の影響で一時は開催自体が危ぶまれましたが、無事に出場3回目となる松山市での全国大会で、三善作品2曲を歌って参りました。3000人収容という大ホールで歌える喜びをかみしみながらも、緊張でいっぱいの団員19名。ア・カペラの「かなしみについて」は思いの外、声が響いていたように感じました。続く「空」はピアノ伴奏に助けられ、落ち着いて表現できたように思います。又、全国から選出された他県の合唱を聴いて多くの刺激を受けました。ハーモニーに裏打ちされたパフォーマンス。客席を沸かせた早着替え。参加団体の中には90歳を過ぎた(おかあさん)も! 「潮の音」もまだまだこれからだな、と実感できた大会となりました。

撮影：スタッフ・テス株

# 森さんは見た！

## 朝日新聞の記者が見た 合唱県・埼玉 多彩な個性たち



私が埼玉県の合唱を取材するようになったのは2015年6月。最初に訪れた学校は、県合唱連盟の指導者派遣事業として理事の大館雅子先生が特別指導をするという日高市の中学校でした。

豊かな自然に囲まれた学校に通う、歌が大好きという12人の愛らしい合唱部員。ただ、きちんと发声法を教わってこなかったためか、最初は歌声が響かず、それが顔の表情にも影響しているように見えました。

そこで大館先生は12人の個性を見極めながら、



歌う時の立ち方や顔の表情、口の開け方などきめの細かい指導を繰り返しました。

た。うまく歌えなくても辛抱強くイメージが膨らむようなアドバイスを心がけ、出来た時はいっぱい褒めてもり立てる。たった3時間の指導でまるで魔法をかけられたように歌声が響くようになり、その指導力に私は驚くばかりでした。

その後、全日本合唱コンクールに出場する学校を中心に取材してきました。いずれの学校も優れた指導法が確立され、部員のセンスも情熱も技量も並外れていますが、とりわけ実感するのは歌声の個性です。

例えば音楽部創部72年の歴史をもつ浦和第一女子高は、伝統の「清楚な歌声」を受け継ぎつつ新しいことにも挑戦し、入退場の整列の美しさを含めた様式美が秀逸です。浦和高には自由な精神を謳歌し

て止まない迫力があり、はち切れんばかりの笑顔で若いエネルギーを放出する松山女子高の大膽かつ繊細なハーモニーは、唯一無二の芸術作品ともいえます。星野高や戸田高、大宮高といった強豪校も含め、こうした磨き上げた個性の集まりが「合唱県・埼玉」を形成しているのではないでしょうか。

もちろん、コンクールの強豪校以外にも魅力はたくさんあります。入間わかくさ高等特別支援学校では、音楽の先生が熱心な指導を続け、コンクールに3年連続出場。その歌声には賞を超えて人の心に訴えかける力があります。また、特別支援学校羽生ふじ高等学園では、やはり音楽の先生が全校参加の合唱ミュージカル「ライオンキング」に10年以上取り組んでいます。アフリカの大地を彷彿させる合唱と踊りに、心躍らせる人は数知れず。2校に共通するのは「一期一会」の舞台で楽しく歌って個性を輝かせている点です。

コンクールの話に戻ります。小学校部門の全国大会が来年始まるそうです。出場するからにはと「全国で金賞」を目指し技量アップを図ることと思いますが、これまで培ってきた部活動や子どもたちの個性は大切にしてほしいと思います。

合唱はみんなでハーモニーをつくり上げる共同作業ながら、その内実は個性の違う他者との違いを確かめ、自己主張もしながら他者と協調し、ひとり生き抜いていく力を身につける場なのではないでしょうか。それが実現した時、歌声が芸術作品として多くの人の心に刻まれるのです。

(朝日新聞さいたま総局・森厚志)

## 第61回

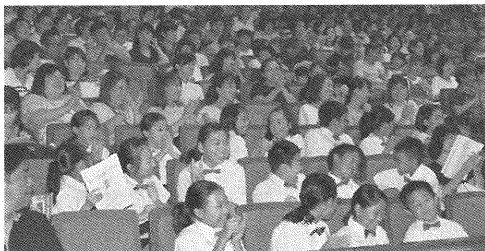
# 埼玉県合唱コンクール

## 第61回埼玉県合唱コンクールを終えて

第61回埼玉県合唱コンクールは、8月25日(土)高等学校部門、26日(日)小学校・中学校部門(混声、同声)、9月2日(日)彩の国・大学職場一般部門、と3日間にわたり、さいたま市文化センター及び所沢市民文化センターで開催されました。

3日間の参加団体数は、小学校部門6、中学校部門(混声)15(同声)28、高等学校部門35、彩の国部門28、大職一般部門(同声)7(混声)シード1含め5、(室内)8(大学ユース)6、と昨年に比べ5団体多い138団体、参加人数は合計で4,172人となりました。ご来場いただいた入場者は3日間合計で、3,967人と昨年同様の数多くの方々にご来場をいただきました。御礼申し上げます。

今年の大会は、例年使用している、さいたま市文化センターの改修工事日程の関係から、3日目の大職一般部門が所沢市民文化センターに変更となりましたが、運営にあたりスタッフ・係員・役員の皆様の多大なるご協力いただきまして、滞りなく開催・運営が出来ました事、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



関東大会へ  
県代表として  
進まれた団体  
の皆様、本當  
におめでとう  
ございます。  
更なる練習を  
積まれ、「激

戦の埼玉」代  
表として関東  
大会、更には  
全国大会での大  
いなるご健闘を期  
待いたします。その一方で

あと一步の所で涙をのんだ団体、代表とは本当に僅差・紙一重の差であったと思います。来年に向けて研鑽に励まれ更なる飛躍を期待いたします。

今年の前半日程、25日、26日は大変な猛暑の中での開催となりました。特に25日の高等学校の皆様には、演奏後の屋外での記念写真撮影になってしまい、猛暑の中で大変申し訳なくお詫びいたします。来年度も同じ8月下旬の開催となりますので、この点十分に考慮をして対処していきたいと考えております。

あと残念な事が1点。ホール内外での保護者の方々による写真撮影、特にスマートフォンでの写真撮影が非常に多く見られ残念に感じました。スマートフォンでの撮影も禁止事項の撮影行為になりますので、著作権・肖像権保護の観点からも、是非お止めいただく様よろしくお願い致します。

来年度は、会場が越谷サンシティホール、及び大宮ソニックスシティと、また会場が変更になります。例年通りの「合唱の埼玉」に相応しい素晴らしい大会になりますよう、スタッフ一同頑張りたいと思っておりますので、また更なるご協力、ご支援をいただければ嬉しく思います、宜しくお願い致します。

(常務理事 須田 信男)



撮影:スタッフ・テス株

## 第73回関東合唱コンクールの結果報告

2018年9月22日(土) 高等学校部門A・B  
23日(日) 中学校部門 同声・混声  
10月21日(日) 大学職場一般部門

} 於: 山梨県甲府市 / コラニー文化ホール  
於: 栃木県宇都宮市 / 宇都宮市文化会館

★高等学校部門Aグループ

【金賞】 慶應義塾志木高校ワグネル・ソサイエティー男声合唱団

★高等学校部門Bグループ

【金賞】 県立松山女子高校音楽部、県立浦和高校グリークラブ、県立浦和第一女子高校音楽部、駿明高校混声合唱団

【銀賞】 星野高校音楽部、県立川越高校音楽部、県立熊谷女子高校音楽部

★中学校部門 同声合唱の部

【金賞】 所沢市立向陽中学校コーラス部、春日部市立春日部中学校合唱部、ふじみ野市立大井中学校音楽部

【銀賞】 栄東中学校コーラス部、蕨市立第一中学校音楽部

【銅賞】 深谷市立幡羅中学校音楽部

★中学校部門 混声合唱の部

【金賞】 春日部市立武里中学校音楽部、さいたま市立宮原中学校合唱団

【銀賞】 所沢市立所沢中学校

【銅賞】 所沢市立南陵中学校合唱団

★大学職場一般部門 大学ユース合唱の部

【銅賞】 男声合唱 APERTASS

★大学職場一般部門 室内合唱の部

【金賞】 合唱団「あべ犬東」

【銀賞】 Chœur Vent Vert

★大学職場一般部門 同声合唱の部

【銀賞】 La Mer, Il Campanile

★大学職場一般部門 混声合唱の部

【金賞】 scatola di voce

【銅賞】 混声合唱団 川越牧声会

下線の団体は全国大会への代表

# 先生！お話し聞かせてください

## 清水雅彦先生へのインタビュー

佐々木 3日間、長時間にわたりご審査いただき誠にありがとうございました。今年度の埼玉県合唱コンクールの総評をお願いいたします。

清水先生 埼玉県合唱コンクールの規模の大きさとレヴェルの高さに驚きながら多くを学ばせていただいた3日間でした。

中学生の皆さん方が立派な演奏を披露し、高校生が全国トップクラスの演奏で競い合っていますね。その卒業生が合唱活動を続ける受け皿となる一般の団体さんが多く存在する。この流れが埼玉県の強さの一因なのだろうと思いました。さらには、私が若い頃から憧れをもって聴かせてもらっていた団体の皆さん方が今も歌い続けておられることへの驚きと嬉しさを強く感じました。

佐々木 審査の基準と観点を教えていただけますか？

清水先生

### 「最初の印象」

最初の1ページ、もしかしたら最初の2小節で評価の線引きがある程度できてしまします。今までの経験から、それを裏切られることはほとんどありません。そして、それを超えて回復することは滅多にありません。音質、音色、様式、方向性が、予測できてしまうということです(全てではありませんが……)。

更には入場の仕方、音取りの方法、歌いだしの一振りにいたるまで、素晴らしい演奏をなさる団体は、そういったところまでしっかりと練習してこられますよね。

### 「作曲家の思い」

楽譜にない音が聞こえたり、楽譜に書いてあるものと違う表現が深い考察から出たものではなく、「独り善がり」になっていたり、時代の様式、作曲家が求めている「音空間」と違うものが聴こえてくると私はその演奏を好きにはなれません。

楽譜に書いてあることを素通りしてはいけない。しかし、そこに留まつていてはつまらない演奏になってしまいます。楽譜を超えた少し先に「感動」があるのだと思います。

佐々木 続いて各部門の講評、アドバイスをお願いいたします。

清水先生

### 「小学校部門」

素敵なホールで、観客の前で合唱を披露する。その舞台に向けて頑張る。それだけでも一生の思い出となりますね。10回の練習より1回の本番。保護者の皆さんも一緒に動かされるので、活動への理



解が深まります。教育現場の大変さを知るものとして先生方のご努力に心より敬意を表します。

### 「中学校部門」

声質・音色・音質の固定化の問題。先生がたが強いポリシーを持って指導されていることは素晴らしいと思います。更には、団としての得意なレパートリーを究めていかれることも大事なことだと思います。しかし、その中で声質やレパートリーが固定化されて、「逃げ道のない」発声や表現になってしまいがち。幅広い視野を持たれて様々な発声法やレパートリーを学ばれることで、さらなるご活躍を期待しています。

### 「高等学校部門」

他県の大会であれば、ほとんどの団体が「金賞」のレヴェルです。本当に素晴らしい演奏を披露して頂きました。その中で感じたのは参加人数の多い団体で、「音の出を待ってしまう」演奏があり、気になったということ。機動性を持たせるのが難しい人数では、各人の拍節感が重要になります。拍節感が薄れ、互いに探り合うような音の出だしなりがちです。ご注意ください。

### 「彩の国部門」

年代を超えて、様々な方々が一堂に会する素晴らしさを感じました。この部門に参加する目的は多々あると思います。活動の一つの大きな目標として設定されている団、他の部門への参加の足掛かりとされている団等、それらの演奏から沢山の感動をいただくことができました。その舞台を提供されている連盟にも敬意を表します。

### 「大学職場一般部門」

練習場所、練習時間の確保等のスケジュール設定の難しさなど、多くの困難を乗り越えて活動を続けられることの素晴らしさを感じました。結成してから数年で解散してしまう合唱団、様々な事情でコンクールへの参加を取りやめてしまう団体が多い中、コンクールの舞台で歌い続ける皆様に心から敬意を表します。

小中高の指導者以外にも優れた指導者が多いことも埼玉県の強みなのだと思います。

演奏に関しては、課題曲の完成度が自由曲に比べ、少し低かったと感じました。審査の比率は課題曲50%、自由曲50%なので、両方に高い完成度が求められます。バランスよく仕上げてください。

部門別の印象は同声部門が頭一つ抜きんでていたかなと思います。混声は今後に大きな期待を！大学・ユースには歌い続けてください！とエールを送らせていただきます。

佐々木 お疲れのところご協力いただき、素晴らしいご助言を承りました。ありがとうございました。

インタビュー：理事 佐々木憲二



# 世代別合唱団事情

合唱は一生を通じての最高の楽しみであり、生きがいです。しかし、年齢を重ねるとともにその取り組み方が変わって来るのかと、世代別にアンケートをお願いしました。少年少女、中学生、高校生、大学生、ユース、女声、男声、混声それぞれの部門の皆様にお尋ねしました。今回はそのうちの3部門、少年少女、中学生、女声の特集です。なお、複数の団体からご回答をいただき、編集いたしました。ご了承ください。

## 練習の頻度

- 少年少女 月4回～月7回
- 中 学 週6日
- 女 声 月4回

## 練習の時間帯

- 少年少女 夕方～夜
- 中 学 放課後2時間程度
- 女 声 午前中または午後1:00～4:00

## 練習の「やりがい」は何ですか？

- 少年少女 活動を通して達成感、成長を感じる喜び。家族や観客の方々に聴いてもらい、特技は「歌うことです！」と胸を張って言えること。
- 中 学 自分たちの力でハーモニーの美しさを感じ取れ、自主的に活動できるようになったとき。
- 女 声 練習後の心身充実感。声量が落ちないような指導を受け、遅々としてではあるが、以前より声が出るようになり、上達が感じられること。

## 大切にしていることは？

- 少年少女 楽しく歌うことで、生き生きと感動を味わうこと。他者を認め、自分を認め、お互いに育ち合えること。自分を大好きになり、プライドを持ち、より本格的な高レベルな合唱を目指すこと。
- 中 学 みんな仲良く、協力して楽しく歌うこと。何でも挑戦。
- 女 声 仲間を大切に、前向きに（後ろを振り向いている時間がないので）、家族に感謝し、歌の「心」が歌える合唱団を目指す。

## 困っていることは？

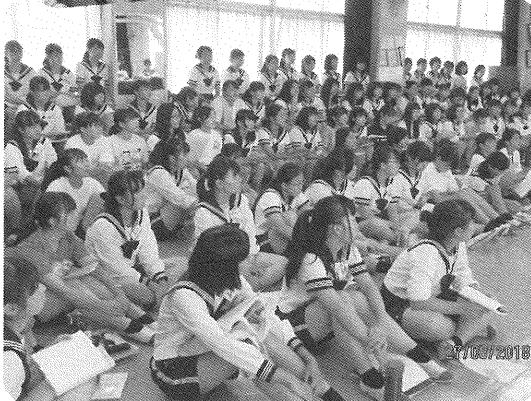
- 少年少女 中高生が部活で忙しくなり、コンスタントに練習に来られない。学校のように毎日練習出来たら、どんなに良いか。
- 中 学 部員数の減少。部員確保。効率の良い練習方法。
- 女 声 練習会場が取れない。昼間練習なので、若い団員がいない。物覚えが悪く、先生の指導通り、なかなか歌えない。高レベルを目指す気力に各々差があり、なかなか一体となれない。

# なでしこSAITAMA 女子高校生コーラス部員の日常生活



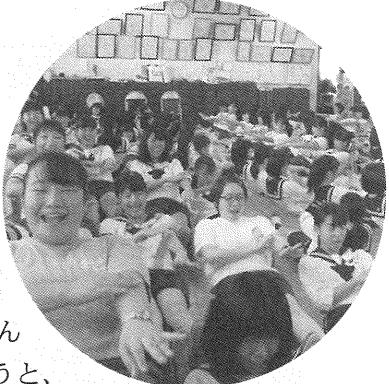
こんにちは。本日は私たち音楽部員の1日を紹介します！ まず朝。朝練はパート内で学年が違う3人でチームを作り週2回、8時から行います。遠距離通学者もいるので、朝練がある日は早い人だと始発で来る人もいます。朝が早かったり昼練習があつたりするので、早弁や間食のお菓子はかかせませんね。放課後は2時間と少しの練習を行います。内容は、发声練習、パート練習、合わせなどです。発声練習は、学年、パートばらばらに並び、隣同士で先輩が後輩の声を聴いたり姿勢や表情を見るなど、アドバイスし合っています。また、先輩、後輩でペアを組み、ローションでペアを変えていくこともあります。そうすると色々な人の教え方を学び、あまり話したことのない人とも関わりを持つことができます。パート練習では、音程や発声の確認の他に表情や姿勢など、歌以外のことでもチェックしています。先生や学生指揮者による合わせでは、音程はもちろん、全体合わせでしかで

きないパートのバランス、言葉の発音の仕方など慎重に調整していきます。地道な練習だからこそ集中力が問わ



## 松山女子高等学校音楽部

## 2年有志メンバー



れるので頭をすごく使います。その時、先生や学生指揮者に音楽づくりを委ねるのではなく、みんなで作り上げていこうと、常に部員一人一人が心がけるようにしています。他にも、全体や学年をグループに分けて練習する少人数練習もあります。普段は人数が多いので個人の声が分かりにくいくことがあるので、少人数で生徒同士、声を聴き合いながら合わせます。また、夏休みには3泊4日で県外合宿をします。練習だけではなくレクリエーション時間が用意されており、みんなでく過ごしています。

筋トレをしながら  
アルプス一万尺を歌う！



部活終わりの飴選び  
など、お楽しみの  
伴を高めながら楽し

以下、松女音楽部あるあるです。●部員がクラスに2人以上はいる（忘れ物をしても借りる当てがたくさん！）●気づいたら歌ってる ●ボイスケアはかかせない ●カラオケ行くと、MezzoやAltパートはハモリを歌っちゃいがち！？ ●音楽室の人口密度が高い

●部名呼びだから本名がわからなくなる ●発声の時表情がやばい！ ●移動の時の行列がながーー

四股立ちで歌う 一一一一一一 ●1人が歌



うとみんな歌ってる  
いかがでしたか？  
興味を持ってください  
さった方がいらっしゃいましたら、  
是非、定期演奏会や文化祭にお越し  
ください。これからも松山女子高校音  
楽部をどうぞよろしく  
お願ひ致します。

# Tact vol.26



指揮者 岡部申之

合唱に携わってきた私には、三人との出会いがありました。初めは、恩師、牧野統先生（現・川越市合唱連盟理事長牧野美紀子氏の尊父）との出会いです。川越高校二年時に、NHK全国学校音楽コンクールで、全国第一位（昭和39年、翌40年に第二位）になったのがきっかけで、音楽の道を志し、その基礎を先生から学びました。

二人目は、東京藝術大学の四年時、室内合唱を指導した、田中信昭氏との出会いです。その授業で授かった合唱の理論を実践したく、卒業と同時に、氏の主宰する、東京混声合唱団に入団。そこで、34年間、カラヤン、ア

バド、サバリッシュ、小澤征爾をはじめとした、数え切れないほどの指揮者で歌ってまいりました。彼らから得た、指揮の具体例を示します。〈カラヤン〉人数を減らしていくことで、diminuendoの美しい曲線を作る。〈アバド〉テンポが一定の箇所では、演奏者に音楽を任せ、1拍目だけを振る。〈サバリッシュ〉可能な限り、全てのパートに合図を与える。〈小澤征爾〉練習時間が少ない時、テンポの変わり目だけを練習する。

三人目は、東京混声合唱団の音楽監督であった、岩城宏之氏との出会いです。田中信昭氏も、岩城宏之氏も、新しい日本の合唱曲を創り出すために、武満徹、間宮芳生、三善晃、林光、柴田南雄等、沢山の邦人作曲家への委嘱活動をしてきました。岩城宏之氏は、著作も多くあり、音楽創造の場では、沢山の魅力ある言葉で導いてくれました。また、前身が打楽器奏者の岩城宏之氏は、リズムに厳しく、6/8拍子では、時々、右手は2拍子、左手は、胸を6拍叩いていたのが印象に残っています。平成17年（2005）、岩城宏之氏が最高顧問を務めていた、くらしき作陽大学（旧・作陽音楽大学）に、氏の要請により、音楽学部教授として招かれ、6年を過ごしました。東京混声合唱団で獲得した合唱技術を、教育現場に投入できることは、歌唱だけではなく、指導によって、音楽創造の幅を広げることができました。

## 告知

## 第62回埼玉県合唱コンクール 開催日程

〈例年と会場・部門の開催順が異なります！〉

2019年8月17日（土）	サンシティホール／越谷市 小学校部門・中学校部門混声・同声
18日（日）	サンシティホール／越谷市 彩の国部門・大学職場一般部門
31日（土）	ソニックシティ／さいたま市大宮区 高等学校部門



## 2019年度合唱コンクールの審査員について

## 第62回埼玉県合唱コンクール

8月17日（土） 小学校部門・中学校部門混声・同声  
金川明裕、菅野正美、鈴木茂明、武田雅博、宮本益光  
18日（日） 彩の国部門・大職一般部門  
金川明裕、菅野正美、武田雅博、宮本益光、山脇卓也  
31日（土） 高等学校部門  
相澤直人、小畠恒夫、鈴木茂明、武田雅博、山脇卓也

## 第74回関東合唱コンクール

9月21日（土） 高等学校部門A・B  
22日（日） 中学校部門混声・同声  
雨森文也、菅野正美、北原幸男、武田雅博、藤井宏樹  
10月13日（日） 大職一般部門  
雨森文也、菅野正美、北原幸男、藤井宏樹、本山秀毅

コンクールの参加団体は第74回関東合唱コンクール終了時まで、埼玉県合唱コンクール及び関東合唱コンクールの審査員に指導を受けることを禁じます。

**50周年****柏グリーンハーモニー合唱団**

団長 萩野 隆夫

2018年8月26日（日）本庄市民文化会館ホールにて創立50周年記念「感謝のコンサート」を開催しました。当日は、猛暑にも関わらず多くの方にご来場いただき感謝申し上げます。

柏G・H合唱団は、「卒業後も顧問の飯浦直哉先生の指揮で歌いたい」と言う埼玉県立本庄高等学校音楽部の卒業生により1967年に創立されました。名称は、本庄高校校舎のシンボルである柏塔の「柏」と新緑のように爽やかな歌声をイメージして命名しました。

創立当初は、本庄高校音楽部の定期演奏会で高校生との合同ステージを歌うことが主な活動でしたが、その後合唱連盟に加盟し、合唱祭、コンクールへの参加や独自の演奏会を開催するようになりました。近年では卒業生以外の方にも入団していただき、一般合唱団として活動し、指揮者が変わることなく50周年を迎えることが出来ましたことは、指揮者と団員相互の深い信頼関係の上に築かれた賜物だと思っております。



柏G・Hのキャッチフレーズは「ルネッサンス期のシャンソンからオールデイズまで」で飯浦先生の音楽造りを愛する合唱好きが集まつた合唱団です。

今回の記念コンサートは、私たちの思い出深い曲や50年間の世相を思い起こす曲を中心に構成し最終ステージでは、合唱団にゆかりのあるソリストや賛助出演者をお迎えしモーツアルト「戴冠ミサ」を演奏しました。

50周年を節目にまた次の目標に向かって、これからも楽しいコンサートを開催していきたいと思います。

## \*\*\* それぞれの周年記念 \*\*\*

**40周年****戸田フラウェンコール**団長 新井 裕子  
前団長 神田 寿子

平成30年5月3日、川口リリア音楽ホールに於いて創立40周年記念コンサート「思い出を歌声に～」を開催いたしました。戸田フラウェンコールは小山田（旧姓）幸子先生のご指導のもと戸田市の合唱講座からスタートし、その後戸田市初の女声コーラスグループとして昭和53年に誕生しました。

幼児を連れて参加していた団員が、今も元気いっぱい歌っています。それぞれが年を重ね、ある年を境に「生涯現役」をモットーとし歌い続けてきました。先生に係るストレッチ、発声、身振り手振りを交えたユーモアたっぷりでパワフルな練習時間は緊張したり吹き出したり。いつもおしゃれな選曲で今まで様々なジャンルの曲を歌わせていただきました。合唱組曲・Jポップ…中でも英語で頑張ったカーペンターズは思い出に残っています。団員の楽しみのひとつは、年に一度の「お出かけ」です。今回のコンサートでは組曲「津和野」を中心に練習してきましたが、数年前には皆で津和野へ旅して曲のイメージを膨らませてきたりもしました。その一方なかなか曲の仕上がりに満足できず悩んだりしましたが、仲間同士励まし合い助け合い、皆とステージで歌いあげた時、会場の皆様の温かい拍手に感無量でした。懸命にご指導くださったアジズ幸子先生、美しい音色で私達を支えてくださった近藤美千代先生、陰で支えてくださった家族や関係者の方々に感謝し今後も仲間達と共に上を目指して歌っていきたいと思います。



## ♪私たちの場所

## Stage

### 男声合唱団 APERTASS

副団長 真柄直輝

こんにちは、男声合唱団APERTASSです。私たちは2017年11月に結成し、18歳から25歳までの約30名で指揮者に松川大先生を迎えて毎週活動しています。9月2日に行われた埼玉県合唱コンクールでは大学ユースの部で金賞、および埼玉県教育委員会教育長賞をいただき、関東大会にも出場させていただきました。まだ創団から日の浅い合唱団ではありますが指揮者の松川先生をはじめ、私たちを支えてくれた関係者の方々への感謝を忘れず、男声合唱の魅力を伝えていける合唱団になれるよう精一杯頑張っていきたいと思います。

### リリカ・ルピス

代表 恩田宏美

相澤先生と私達との出会いは、結成から8年目の2009年7月でした。初めて合唱曲集にも挑戦し、本格的なヴォイストレーニングも始まりました。存続の不安もあった私達を、相澤先生が親身になってご指導してくださったおかげで、今のリリカはあると言っても過言ではありません。

子育てが落ち着き、これからは親の介護の心配へと奮闘は続きます。その中で週1回集い、歌うことはかけがえのない時間です。HPを作成したおかげで仲間も増え、第4回演奏会も来年6月に決まりました。相澤先生は真面目過ぎるのがリリカの長所でもあります。これからは少し肩の力を抜いて、それでもリリカらしく進んでいきたいと思います。

ツイッター始めました。  
@scl\_from1957  
フォローお願いします♪

編後記

Pause第49号をお届けいたします。ワークショップ、合唱祭、おかあさんコラス関東支部大会、コンクールの報告等と、今回は「女子高校生コラス部員の日常生活」をお届けしました。お楽しみいただけたでしょうか。今後も皆様の豊かな合唱ライフのお手伝いをします。

部長 大野栄

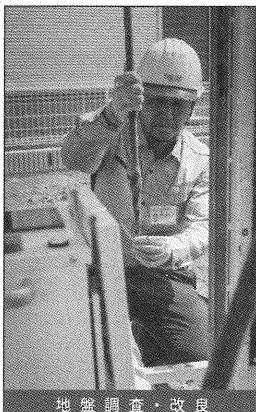
### 川越市立山田中学校音楽部

私たち山田中学校音楽部は、少ない人数かつ少ない練習時間ですが、聴いてくださる方の心に響くような歌声を届けるために、日々精一杯練習に取り組んでいます。部員同士仲も良く明るく楽しい活動ができています。主に地域行事や音楽行事への参加、学校行事での発表などたくさんの行事に参加させていただいている。まだまだ合唱の経験が浅い私たちにとって、ステージで演奏できることはとても貴重な体験です。だからこそ、1回1回のステージを大切に二度と体感することができないくらいに楽しく有意義なものにできるように頑張っています。まだまだ未熟な演奏ですが、歌を通してたくさんのこと学ぶべく、これからも日々努力していきます。よろしくお願いします。

### 埼玉県立熊谷高等学校音楽部

部長 高山瑞生

こんにちは、熊谷高校音楽部です。創部から63年目を迎えました。現在、部員数20名で楽しく活動しています。校訓である「自由と自治」の精神のもと生徒主体で運営し、顧問の櫻井先生のご指導のもと技術の向上を図っています。毎年夏には熊谷女子高校音楽部さんと合同定期演奏会を行っており、今年53回目を開催することができました。その他にはコンクール、音楽祭、県合唱祭や小・中学校をはじめとする訪問演奏、また近年では、本校OBで声楽家の原田勇雅さんのリサイタルにも出演させていただいております。合唱を通じてよい人間性を育みながら合唱の魅力を追求していくことを念頭に置いて今後も活動を続けたいと思います。



★ 来てオトク、見てナットク！  
**体感すまいフェア**

分譲住宅

注文住宅

2018.9.1(土) - 11.20(火)



WEB予約がオトク！

ポラス 検索

住まい価値創造企業

**POLUS**

ポラスグループ

ポラス株式会社 埼玉県越谷市南越谷1-21-2 TEL048-989-9119  
(宅建業 国土交通大臣(11)第2401号(株)中央住宅)